

目 次

第 I 部 測地学委員会

第 1 章 日本近代測地学の黎明期	3
1-1 本邦近代測地学の前夜	3
1-2 万国測地学協会への加盟	7
第 2 章 測地学研究体制の成立——緯度観測所の設置と測地学委員会の発足——	13
第 3 章 測地学委員会の活動	21
3-1 国際緯度観測事業	21
3-2 重力測定	38
3-3 垂直線（鉛直線）偏差	53
3-4 経度観測	58
3-5 国際報時事業	60
3-6 海洋潮汐調査	63
3-7 固体地球潮汐観測	66

第 II 部 測地学審議会

第 1 章 測地学審議会の発足	71
1-1 設置の経緯	71
1-2 測地学審議会の任務	72
1-3 測地学審議会の組織	76
第 2 章 測地学審議会の活動	79
2-1 発足から今日までの活動の概観	79
2-2 初期の活動	83
2-3 第 2 の時期——国際協力事業の発展	86
2-4 第 3 の時期——社会的ニーズへの対応と国際協力事業の進展	100
2-5 第 4 の時期——地球物理学の課題の見直しとその後の展開	111

第 III 部 地球物理学の発展

第 1 章 序	121
第 2 章 地球物理学研究の展開	123
2-1 測地科学	124
2-2 大気—海洋—陸水系の科学	135

2-3	地震とその予知の研究 90 年	147
2-4	火山噴火予知	155
2-5	わが国における地磁気測量	174
2-6	リソスフェア研究	186

第 IV 部 回 想

1.	測地学審議会の新発足と国際地球観測年	岡野 澄	207
2.	測地学審議会委員としての私の思い出	加藤 愛雄	210
3.	文部省測地学委員会嘱託の頃の回想	清水 彊	213
4.	私と測地学委員会	虎尾 正久	215
5.	測地学審議会三十年の思い出	永田 武	219
6.	関東大地震以来の思い出	和達清夫	223

資 料

I.	測地学委員会関係資料	229
II.	測地学審議会関係資料	301
III.	文献・資料	391